

I テーマ設定にあたって

1 テーマ

「親の役割を問う」

2 テーマ設定の趣旨

教育基本法が約六十年ぶりに改定された。その背景には、科学技術の進歩、情報化、少子高齢化、核家族化、価値観の多様化、社会全体の規範意識の低下や教育力の低下、育児に不安や悩みを持つ親の増加など、社会や家庭の変化が挙げられている。したがって、第一〇条には、家庭教育の条項が新設され、「全ての教育の出発点である家庭教育の重要性をかんがみ、保護者が子どもの教育について第一義的責任を有すること、及び国や地方公共団体が家庭教育支援に努めるべきこと」とされた。また、第一三条には、学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力の条項が新設され、「学校、家庭、地域住民その他の関係者が、教育に

おけるそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力を努めるべきこと」とされた。現代社会は、物質的豊かさや利便性、過度の個人主義などが強調され、子ども達が規律を守るとかマナーを軽視することや工夫することの大切さ、また、高度情報化の進展による携帯電話やインターネットは、青少年を巻き込んだ凶悪事件や性犯罪を引き起こす弊害ともなっている。虐待も後を絶たない。これらは、大人社会全体のモラル低下の問題と言える。最近、「モンスタ・ペアレント」と表現される親の出現が話題になり、その対応に学校が苦慮しているという話題も聞かれる。こうした中で、子ども達は、「基本的な生活習慣の乱れ」「学ぶ意欲の低下や学力の低下傾向」「体力の低下」「社会性の低下」「規範意識の欠如」などの問題点があると指摘されている。そこで、本懇談会では、こうした現状を踏まえ、子ども達の健全育成にとって果たす親の役割・責任を今一度原点に戻って論

議したいと考える。具体的には、①「現代の親の課題や問題点」、②「それらの課題や問題点についての対応」について、それぞれの立場から意見をいただき協議を進める。

II

懇話会委員

(敬称略、五十音順)

○佐藤 寿治 さとう としはる

元北海道PTA連合会副会長

○高田 憲司 たかだ けんじ

千歳市立富丘中学校教頭

○坪田 清美 つばた きよみ

いしかり福祉会えるむ保育園園長

地域子育て支援センター長

○花田 政幸 はなだ まさゆき

道新アクティ社長

○山内平一郎 やまうち へいいちろう

北広島市図書館館長

○山谷敬三郎 (委員長) やまや けいざぶろう

北翔大学大学院教授